

## 『地域に根ざした新たな旅づくり』

株式会社シービーツアーズ 代表取締役社長  
(北海道中央バスグループ) 戒谷 侑男(えびすたに・ゆきお)



**略歴:** 1946年滝川市生れ。64年に北海道中央バスに入社し、深川、滝川、砂川、札幌を転任。91年よりシービーツアーズに転出。北海道遺産を活用した観光ツアーに積極的に取り組み地域活性化に道内各地を奔走中。2000年常務、2007年代表取締役就任。NPO法人北海道遺産協議会理事 滝川観光協会理事

### ■変化の時代のなかで

1990年代以降、観光業界は変化の時代に突入した。一人ひとりの価値観やニーズの多様化で、団体から個人型、周遊から滞在型、名所見物から参加体験型・学び観光型へと、旅行スタイルは大きな変貌を遂げた。

シービーツアーズは、地域に根ざしたバス会社の系列企業として、「地域貢献」「地域への恩返し」を社是とし、観光事業に取り組んできた。観光に新たな付加価値が求められる中、旅行会社として何ができ、どのようなツアーづくりが地域貢献につながるのか、それが大きなテーマとなっていた。

### ■きっかけ～北海道遺産との出会い

北海道遺産は、「次世代に残したい北海道の宝物」として、豊かな自然や北海道に生きてきた人々の歴史、文化、生活・産業などさまざまな有形無形の価値の中から平成13年に25件、平成16年に27件の計52件が選定されている。平成13年の第1回選定の発表の時に北海道遺産の存在を知った。非常にバラエティに富んでいて面白そうなものがある、と思った一方で、これまでのいわゆる観光資源とは異なるものも多く、ツアーにするのは難しいという印象も受けた。そこで、まずは自分の目で見て確かめようと、北海道遺産を訪ねてみた。

### ■本当にツアーにできるのか？～答えは地域にあり

実際に各地の北海道遺産を訪ねてみて、「十分ツアーにできる」という確信を得た。それぞれの北海道遺産にはそこに熱意を持って関わる「人」がいて、脈々と伝えられてきた北海道ならではの「物語」があふれていたからだ。地域の物語を一番良く知っているのはそこに暮らしてきた人々である。地域の人から自らの言葉で語ってもらう「ツアーガイド」となり、地域の人から地域の宝物を紹介する「北海道遺産の旅」がスタートした。

### ■「北海道遺産の旅」の特徴

北海道遺産を巡る「北海道遺産の旅」ツアーは、平成14年から毎年実施している。そのうちいくつかをご紹介します。例えば「増毛の歴史的建物群とニシン街道」のツアーでは、現地の観光ボランティアガイドさんの飾らない浜言葉がツアー参加者にも大変好評だ。調子が良ければ“ソーラン節”を披露してくれることも。昼食は“ニシンづくし”。「空知の炭鉱関連施設群」を巡るツアーでは、かつて隆盛を極めた空知地域に今も多く残る炭鉱関連施設を訪ねる。実際に立坑の内部の見学もできる。現地の観光ボランティアガイドは元炭鉱で働いていた方で、炭鉱での作業や長屋での暮らしを臨場感たっぷりに解説する。このツアーの昼食は“なんこ料理”。馬の腸を柔らかく煮込んでみそで味付けしたもので、炭鉱が栄えた当時からこの地域で愛されてきた料理である。「小樽みなとと防波堤」のツアーでは、防波堤をいかに見せるかがポイントであった。そこで、小樽港内で運行している屋形船に乗って実際に近づいて見られるようにした。ここでも、勉強熱心な小樽の観光ボランティアガイドが船に同乗して、防波堤の歴史や、そこにまつわる物語を語ってくれる。足寄町の「螺湾(らわん)ブキ」のツアーも好評だ。高さ2～3メートルにもなる螺湾ブキを実際に収穫する体験ができるほか、宿泊先では、螺湾ブキづくしの料理を味わう。

## ■新たなテーマ展開

「北海道遺産の旅」の造成・実施を通じて得た知見を活かし、近年は新たなテーマのツアーづくりも始めている。一つは「産業観光」。産業を知ることには地域を知ること。北海道のものづくりを学び、地域の誇りを醸成し、地域の活性化に繋げることを目的としている。日本の近代化の物語を内包する室蘭の鉄工所や苫小牧の製紙工場などを“見る・聞く・学ぶ旅”である。

もう一つは、地域課題への貢献を目的とする「応援ツアー」である。夕張市にある炭鉱遺産(北海道遺産の一つである)の雪下ろしをツアー客が実施するものである。地域に少しでも直接的に貢献する作業を通して、地域の人や参加者間の交流が生まれる、新たな観光スタイルの一つであると考えている。

◇ツアーづくりを通して地域に貢献したい

従来は観光資源になるとは考えられなかったものに、ツアーや個人観光客が訪れるようになり、地域では誇りと自信の醸成にもつながっている。北海道の各地にはまだまだ地域の“宝物”が眠っている。地域の人たちにとっては当たり前のも、観光客にとっては、非常に魅力的に映るものがたくさんある。これからも、地域に根ざしたツアーづくりを通じて、そうした北海道各地域の魅力を伝え、価値を高めることに少しでも貢献できればと思っている。



「北海道遺産」をプリントしたツアー用バス



増毛・本間家で説明するボランティアガイド



三笠・旧住友別炭鉱立坑